

『地域漁業研究』 執筆要項

制定：2008年2月1日

改訂：2017年11月30日

改訂：2018年10月27日

改訂：2020年12月1日

1. 原稿の作成ならびに提出

投稿は英文・和文ともすべて電子ファイルとする。

その際、学会 HP 上 (<http://www.jrfs.org/toko.html>) にある「論文フォーマット用ファイル」をダウンロードして本文を作成すること。また、あわせて「送り状フォーマット用ファイル」に記入してメールに添付すること。

原稿の作成ならびに提出には、以下の2点のファイルを使用する。

- ① 論文フォーマット用ファイル
- ② 送り状フォーマット用ファイル

提出時には、上記2点のほか、以下の③も送付する。③については、「2. 原稿のスタイル」に規定する2段組フォーマット（HP上の「投稿テンプレート」ならびに「見本」を参照）に著者自身で組み直したものをPDFに変換して送付する。

- ③ 投稿テンプレートに従い、タイトル・執筆者名・キーワード・英文要約などを枠内に記入し、本文・図表・注・付記を2段組フォーマット（図表については部分的に左右両段にまたがっても良い）に挿入・調整した原稿をPDFに変換。

なお、ファイル名は、必ず規定に沿ったものにする。

- 例) ① 論文【20171021_地域太郎】.docx
② 送り状【20171021_地域太郎】.docx
③ 2段組PDF原稿【20171021_地域太郎】.pdf

送付先：地域漁業学会編集委員会（株）共立内事務局 三角宛

E-mail: jrfs_journal@kyouritsu-online.co.jp

送付件名：「論文投稿 著者名」

2. 原稿のスタイル

学会 HP 上にある「論文フォーマット用ファイル」を利用し、英文・和文ともA4用紙に横書きとする。統計表及び図については、本文中に挿入のうえで作成する。手書き原稿は受け付けない。

- ① 1行；40文字
- ② 1ページ；34行
- ④ 文字サイズ；10.5ポイント
- ⑤ 上下左右の余白；上下は22mm、左右は30mm

投稿時には、上記スタイル（論文フォーマット用ファイル）とするが、製本時には2段組みとなる。投稿の際には、HPに掲示してある「投稿テンプレート」（23字×32行×2段＝1472字/頁）に原稿文章を流し込み、投稿規程に定めた以下の原稿種類ごとのページ数に収まるように著者自身で文章校正すること。なお、同テンプレートには「テキスト形式」でコピー&ペーストして流し込むこと。「テキスト形式」以外で流し込むと書式情報までコピーされ、テンプレートの書式（初期設定：製本・印刷時の書式）が改変されてしまうため。なお以下のページ数は、タイトル・執筆者名・キーワード・英文要約・本文・図表・注釈等、すべてを含めたものとする。

- ① 論文（会員投稿&シンポジウムに関するもの）…刷り上がり10ページ以内
- ② 報告論文（一般報告&ミニシンポジウムに関するもの）…刷り上がり8ページ以内
- ③ 研究ノート・実態調査…刷り上がり6ページ以内
- ④ 書評……刷り上がり2ページ以内

図表（写真も含む）の枚数は、本要項「6. 図表の書式」の規定より以下の通りとする。①論文は10葉以内、②報告論文は8葉以内、③研究ノート・実態調査は6葉以内とする。

3. 原稿の書式

- ① 章節構成；章と章、節と節については、1行あけ。章は1. 2. …、節は1) 2) …、項は(1) (2) …とする。
- ② フォント；文字はMS明朝体。英数字はCentury体（もしくはTimes New Roman）、半角とする。章節の題目はゴシック体とする。
- ③ 句読点；。、
- ④ 年次；4桁の西暦。半角とする。
- ⑤ 水産動植物名；全角カタカナ。学名は原則として併記しない。
- ⑥ 統計数値；半角とする。桁の多い場合には千、万、億を使用できる。
例 12,345、7億5千万
- ⑦ 注記；*** 1) 指し示す単語の右肩部分に数値を片カッコ付きで記入する。また、注記は本文末に「注」とし、まとめて記載する。「参考・引用文献」および「付記」が必要な場合は「注」の後に著者自身で付すこと。

4. 要約とキーワード

投稿原稿（書評を除く）には英文要約（120語以内）をつける。掲載場所はテンプレートの通り、①英文タイトル（文頭以外の冠詞・接続詞・前置詞を除く単語の頭文字は大文字）、②著者名（日本人は姓、名の順で、姓は全て大文字、名は頭文字が大文字）の後に、③英文要約本文、をおく。またその後ろに④10語以内の英語キーワード、を記載する。なお、本文が英語論文の場合は、テンプレート挿入時に10行以内の要約ならびに10語以内のキーワードとし、日本語で記載する。

5. 引用文献の書式

引用文献リストは、「参考・引用文献」の見出しの後に一括して記載する。リストは、著

者姓 (family name) についてアルファベット順とし、同一著者の文献が複数あるときは、刊行年の古いものを先に記載する。また、同じ著者による同一刊行年の文献が複数ある場合は、刊行年の後に a、b、c、・・・を付して区別する。なお、著者が複数のときには著者名「・」ないし「and」でつなぐ。

和文では全角のコンマ「,」と全角のピリオド「.」を用い、半角のコンマと半角のピリオドは使用しないものとする(但し、URL は除く)。また、フォントについては、和文字は MS 明朝、英数字は Times New Roman とする。

表記の仕方は以下の例示に従う。

(1) 和文雑誌の引用

有本 寛・中嶋晋作・富田康治(2014)「区画の交換による農地の団地化は可能か?—シミュレーションによるアプローチ—」『農業経済研究』86(3) : 193-206. <http://doi.org/10.11472/nokei.86.193>.

※ 受理済だが掲載巻ページ不明の場合には、『農業経済研究』(近刊)

※ オンラインでも入手可能な場合には、doi をつける。

(2) 和文書籍の引用

川島丈太郎(2006)『戦前期日本の食糧政策』民政出版.

マックス・ウエーバー(1989)『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』(大塚久雄訳) 岩波書店.

※外国人著者名がカタカナ表示の場合は、姓と名の間に「・」を入れる。また、複数著者の場合には「,」でつなぐ。

(3) 和文書籍(編著)の章の引用

島田晴彦(2002)「アグリビジネス分析の視点と方法」持田直弘・南太郎編著『アグリビジネスの計量分析』農業大学出版会, 3-15.

(4) 外国語雑誌の引用

Maru, T. (2016) How Social Customs Restrict EU Accession Effects on Female Labor Participation in Agricultural Production in Rural Adana, Turkey: A Simulation Analysis, *Japanese Journal of Rural Economics* 18(1): 17-31. <http://doi.org/10.18480/jjre.18.17>.

Kunimitsu, Y., Y. Iizumi, and M. Yokozawa (2013) Is Long-term Climate Change Beneficial or Harmful for Rice Total Factor Productivity in Japan: Evidence from a Panel Data Analysis, *Paddy and Water Environment* 12(2): 213-225.

※ 受理済だが掲載巻ページ不明の場合には、*Japanese Journal of Rural Economics* (forthcoming)

※ オンラインでも入手可能な場合には、doi をつける。

(5) 外国語書籍の引用

Geode, C. and T. R. Kompson (1983) *Applied Production Economics: Theory and Application*, New York: APOT Press.

(6) 外国語書籍（編著）の章の引用

Berogman, T. E. and W. K. Destwanger (2005) The Role of Information in Applied Consumption Analysis, in A. K. Weisman, ed., *Economics of Consumer Behavior*, London: White University Press, 111-133.

※編者が複数の場合は全員の名前を連記し、ed. を eds. に変更する。

(7) ディスカッション・ペーパー

山下一仁(2009) 環境と貿易の経済分析, RIETI Discussion Paper Series 09-J-028, 東京: 独立行政法人経済産業研究所, <https://www.rieti.go.jp/jp/publications/dp/09j028.pdf>.

Mobarak, A. M. and Rosenzweig, M. (2012) Selling formal insurance to the informally insured, *Economics Department Working paper No. 97*, New Haven: Department of Economics, Yale University.

※オンラインでも入手可能な場合には、URL をつける。

(8) WWW に掲載されている情報（掲載年が不明な場合は省略可）

農林水産省(2008) 「食料自給率の部屋」, <http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/index.html> (2009年12月1日参照).

U. S. Department of Agriculture (2014) Agricultural Act of 2014: Highlights and Implications, <http://www.ers.usda.gov/agricultural-act-of-2014-highlights-and-implications.html> (accessed on October 1, 2014).

6. 図表の書式

- ① A 4 用紙 1 枚につき 1 つの図あるいは表を記載し、数値及び罫線が簡素かつ明瞭なものとし、カラーを用いないこととする。なお、図表には写真も含む。
- ② フォント；文字は MS 明朝体、英数字は Century 体（もしくは Times New Roman）・半角、タイトルはゴシック体とする。
- ③ 注及び出所；注、出所の順とし、図または表の下部欄外に左寄せする。
- ④ 図 1、図 2、（タイトルは下部）、表 1、表 2（タイトルは上部）と表記し、センタリングする。

7. 執筆要項の変更

なお、編集委員会が印刷及び出版上止むを得ないと判断した場合には、執筆要項の一部を改訂することがある。改訂する際には、学会のホームページ等を通じて会員に周知する。